

取扱説明書

HDL-XRシリーズ 2ドライブモデル HDL-XR/2Dシリーズ

本紙は、本製品 (HDL-XR/2D シリーズ) と、その他の HDL-XR シリーズの違いについて説明しています。
本製品は、スロット 1、2 のカートリッジ 2 台で構成されています。

内容物を確認する

※別冊の「管理マニュアル」内【内容物を確認する】は読み飛ばしてください。

- ☐ HDL-XR/2Dシリーズ
(1 式: 本体 1 台、カートリッジ 2 台、ダミーカートリッジ 2 台)
- ☐ 電源ケーブル (1 本)
- ☐ LANストレートケーブル (1 本)
- ☐ ロック(LOCK)キー (2 個)
- ☐ サポートソフトCD-ROM (1 枚)
- ☐ インデックスシール (2 枚)
- ☐ 保証書 (1 枚)
- ☐ 管理マニュアル (1 冊)
- ☒ HDL-XR/2Dシリーズ 取扱説明書 [本紙]

本製品のRAIDモード

RAID 0	<ul style="list-style-type: none"> スロット 1、2 のカートリッジの全容量を利用できます。 アクセス速度が最も早くなります。 データの保護機能はありません。
RAID 1 (出荷時設定)	<ul style="list-style-type: none"> スロット 1、2 のカートリッジの 50% (1 台分) を利用できます。 スロット 1、2 のカートリッジに同時にデータを書き込むため、一方のスロットのカートリッジが故障してもデータは保護されます。

使用上のご注意

- HDL-XR/2D シリーズでは、eSATA ミラーリングは設定できません。
- スロット 3、4 は出荷時設定では、ハードディスクが入っていないカートリッジがセットされています。カートリッジを抜いた状態で使用しないでください。内部温度が上昇する場合があります。
- スロット 3、4 のカートリッジを接続した場合、正常に装着されるといったん待機中となり、HDL-XR シリーズ相当の RAID モードが選択できるようになります。
つづけて、スロット 3、4 のカートリッジを使用する RAID モードを選択すると利用できます。
※これ以降は、ハードディスクを 4 台接続した HDL-XR シリーズとなり、2 台のみ装着する HDL-XR/2D シリーズとしての利用はできなくなります。
- RAID 1 (2 台) で動作時のみ、RAID 1+スペア (データ移行) を選択することができます。このモードのみ内蔵ボリュームのデータを保持したまま RAID モード変更 (RAID 1+スペア) ができます。それ以外の RAID モード変更は、フォーマットを伴います。あらかじめデータをバックアップしてください。

アップグレード

本製品にオプションカートリッジを 2 台接続し、RAID モードを変更することにより、本製品をその他の HDL-XR シリーズ相当へアップグレードすることができます。

カートリッジ追加後に
選択可能なRAIDモード

- ・RAID 5
- ・RAID 6 (出荷時設定)
- ・RAID 0
- ・RAID 5+スペア
- ・RAID 1+スペア
- ・暗号化RAID 5
- ・暗号化RAID 6

ご注意

- RAID モードの変更方法については、【画面で見るマニュアル】をご覧ください。
- 本製品が「RAID 1 (2 台)」で動作中に「RAID 1+スペア (データ移行)」に変更する場合、内蔵ボリュームに保存したデータを維持したままアップグレードすることができます。「RAID 1+スペア (データ移行)」以外に変更した場合や、本製品が「RAID 0 (2 台)」で動作している場合、内蔵ボリュームに保存したデータは全てフォーマットされ移行することができません。作業の前に、必要に応じてデータのバックアップしてください。
- 本製品は、内蔵ボリュームを「RAID 0 (2 台)」または、「RAID 1 (2 台)」以外の RAID モードに変更した場合、「HDL-XR シリーズ」として動作するようになり、再び「RAID 0 (2 台)」または、「RAID 1 (2 台)」に戻すことはできません。

※HDL-XRシリーズへのアップグレード方法は裏面をご覧ください。

オプションカートリッジ

次の弊社ホームページを参照し、本製品の容量にあったカートリッジをお買い求めください。



http://www.iodata.jp/product/hdd/taiou/nas_hdd.htm

ご注意

- 本製品の容量を後から増やすことはできません。
(HDL-XR2.0 において、1TB の交換用 HDD を 4 つ使用して HDL-XR4.0 と同容量とするなど)
対応交換用カートリッジよりも容量の大きいカートリッジを接続した場合でも、実際に使用できる容量は対応交換用カートリッジと同じ容量に調整されます。
- オプションカートリッジには、RAID システムは入っていません。

保守サービスISSに加入している場合

HDL-XR/2D シリーズが、アイ・オー・データ機器が提供する保守サービス ISS に加入している場合は、次の URL に記載の方法で増設したオプションカートリッジの登録が必要です。

<http://www.iodata.jp/support/iss/>

※ログイン後、「HDL-X*/2Dシリーズ用増設ドライブ登録」ボタンから追加登録をおこなってください。

※オプションカートリッジの追加登録をいただかない場合は、ISS 保守では、HDL-XR/2D シリーズ本体のみが保守対象になります。

※登録できるオプションカートリッジは 2 台です。



HDL-XRシリーズへのアップグレード方法

ご注意

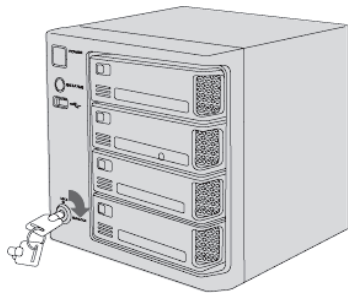
本製品をアップグレードすると、内蔵ボリュームに保存したデータはすべてフォーマットされます。
RAID モードを変更する前にあらかじめデータをバックアップしてください。

1 オプションカートリッジを 2 台準備する

※表面【オプションカートリッジ】参照

2 本製品の電源が入っていることを確認する

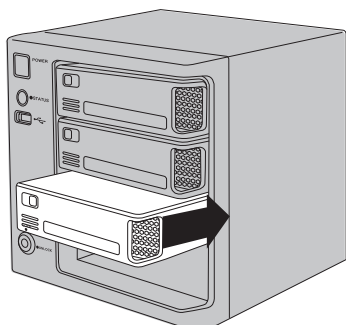
3 添付のロックキーを [カートリッジ固定 LOCK] に挿し、時計回りにまわして、[UNLOCK] にする



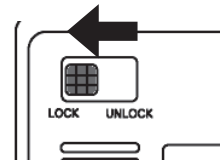
4 スロット 3、4 のスライドスイッチを右に移動する



5 スロット 3、4 の空のカートリッジを取り外し、オプションカートリッジを奥まで挿入する



6 スロット 3、4 の [スライドスイッチ] を左側 (LOCK) にする



7 [ステータス] ランプが点滅から点灯になるまで、しばらく待つ

8 本製品の設定画面を開き、RAID モードを変更する ※方法は、【画面で見るマニュアル】をご覧ください。

RAID モードの変更が完了したら、アップグレードは完了です。

ご注意

STATUS ランプが赤点滅、ACCESS ランプが赤点灯、または赤点滅した場合は、取り付けに失敗しています。
この状態は、システムに取り付け処理を行いましたが生体で使
用できない状態です。

【ACCESS ランプが赤点滅している場合の対処】

※赤点滅しているカートリッジは使用できません。

●原因1：ディスクエラー発生過多

本製品はディスクにエラーが発生した回数を記録しており、エラー
が多数発生したディスクは RAID を構成するディスクとして使用し
ないようにしています。新しいカートリッジを準備し、交換してくだ
さい。

●原因2：S.M.A.R.T. チェックエラー発生

本製品はディスクを接続されたとき、ディスク自身の故障診断機能
(S.M.A.R.T) を利用してディスクが壊れていないか確認します。
S.M.A.R.T 情報により故障と判定されるディスクは、使用しないよ
うにしています。新しいカートリッジを準備し、交換してください。

●原因3：RAID に組み込むために必要なディスク容量が足りない カートリッジを接続した

システムは RAID を構成するディスクとして使用できないため、適
切なディスク容量を持つカートリッジに交換する必要があります。